

2020年度春季関東大学バレーボールリーグ戦

開催要項

主催	一般財団法人関東大学バレーボール連盟
主管	一般財団法人関東大学バレーボール連盟
後援	東京都、東京都バレーボール協会、千葉県バレーボール協会 小田原バレーボール協会、流山市教育委員会

I：試合日程及び運営

- 1、開催期間 2020年4月4日(土)～5月23日(土)
(但し、4部以下のリーグ戦においては4月11日(土)～5月24日(日)とする)
- 2、入場料 ① 男子1部は一般2000円、学生1000円
② 女子1部は一般1000円、学生500円
※ 男女2部以下の入場料はありません。
- 3、大会運営及び日程・会場 (1) 学連員または代表校を中心にリーグ戦を円滑に行うように心がけること。
(2) 日程・開催会場は各部で決定する。
- 4、開会・閉会式 (1) 開・閉会式並びに表彰に関しては各部で決定する。
(2) 開・閉会式を行う際、特別な事情がない限りエントリー選手は全員参加しなければならない。
(3) 各部表彰状が必要な場合は、閉会式までに代表委員が学連事務局に連絡し受領する。
- 5、流行性疾患及び災害時の対応 (1) インフルエンザ等の流行性疾患発症の場合は速やかに学連に報告すること。
(2) 多数のチームで多数の選手・スタッフが発病している場合や災害等が発生している場合は、学連〈競技委員長〉が、チーム状況を十分に把握したうえで、延期するか否かを判断し、延期決定の場合は速やかにホームページに掲載する。
(3) 学連はチーム状況を把握のうえ、試合再開(入替戦を含む)の日程(平日を含む)、会場審判員の確保等の準備ができ次第、速やかに試合日程をホームページに掲載する。
(4) 日程等の調整のうえ極力全日程の消化に努めるが、全試合を実施出来ない場合にはその時点までの試合結果を持って最終順位とする。
(5) 大幅な延期になった場合は、競技委員会で審議し、理事長より取り扱いを決定する。
(6) 試合当日災害が発生した場合は、学連担当者及び会場運営管理担当者の注意事項(誘導)に従って適切な行動をとること。

II：大会参加資格

1、チーム参加資格 下記の条件を満たしていること。

- (1) 2020年度（公財）日本バレーボール協会(JVA)登録規定により大学として登録されその在籍学生で構成されたチームであること。
- (2) チームに在籍している学生はJVA 個人登録（MRS）の登録者であること。
- (3) 2020年度（一財）関東大学バレーボール連盟、2020年度（一財）全日本大学バレーボール連盟の加盟校および登録者であること、また本大会にエントリーされていること。
- (4) リーグ戦の選手登録の回数制限(年間2シーズン制の場合)について。大学の最短期間修学年数の2倍の回数内とする。(リーグ戦が春秋と1年に2回開催されるため)
※2年制大学は4回、4年制大学は8回、6年制大学は12回
- (5) 大学院生、聴講生等は選手登録を認めない。
- (6) チームの選手登録数が6名以上でチーム登録が認められる。
- (7) チームに必ずC級以上の審判資格を所有した者がチームの構成員に在籍していること。

2、大会出場の選手・スタッフ手続き

- (1) スタッフ・選手はチームからのエントリー届に基づきプログラム(下部パンフレット)に記載されていなければならない。
- (2) スタッフ・選手のエントリーの人数は部長（大人であり当該大学教職員）、監督、コーチ、トレーナー、マネージャー(当該大学生であり女子部に男子のマネージャーは認められない) 各1名、選手のエントリー人数は99人までとする。
- (3) プログラム(下部パンフレット)に記載されていないスタッフ、選手は試合前に提出する「構成メンバー表」用紙に記載することはできない。
- (4) スタッフ・選手の追加エントリーの手続きは以下(①または②)の手順を行い、プログラム(下部パンフレット)に追加記載されて完了する。
 - ① 登録していない、またはエントリーされていない学生は追加登録原簿（Excel）、JVA登録(MRS)加入選手一覧(pdf)、追加エントリー届（Excel）を学連担当委員に提出し、追加記載されて完了する。
 - ② 登録していない、またはエントリーされていない大人のスタッフ(在籍学生以外)は追加登録原簿（Excel）、追加エントリー届（Excel）を学連担当委員に提出し、追加記載されて完了する。
- (5) 部長以外のスタッフを変更し試合に出場する場合は、大会当日、本部に臨時役員変更届を届けて許可を得ること、構成メンバー表に記載されていることで変更手続きが完了する。ただし、特段の理由がある場合に限る。
(選手でエントリーされている人がスタッフを行う際も、臨時役員変更届を本部に提出する事)
- (6) **追加登録・追加エントリーの期間**
試合出場の3日前以上の水曜日（18：00まで）

Ⅲ 大会申し込み手続き

※エントリー提出にあたり、開催要項を熟読し了承の上で書類を提出してください。

1、エントリーについて 締切り日【2020年3月1日(日)20時まで】

※エントリー届を提出し、受付後の変更はどのような理由があっても、一切認めないので注意すること。

- (1) どのような理由があってもエントリー締め切り期日までに間に合わない場合は、参加を一切認めず自動的に棄権となる。
- (2) エントリー締め切り後に、新入生の入部を確認した場合は追加登録・追加エントリーを必ず行うこと。(Ⅱ2(4)①に記載)

2、リーグ参加料 (1) 男子1部、男子2部、女子1部、女子2部… 70,000円

(リーグ戦の初日に受付にて学連員に支払うこと)

- (2) 上記以外の各部の参加料は、チーム負担が多くならないように考慮し、各部で協議の上決定する。また、大会運営で発生した料金については、学連では負担しない。

3、集合写真について

- (1) 不鮮明、ふざけた写真は撮り直しとする。
- (2) 選手、スタッフの顔がはっきり見えるように整列して撮影すること。
- (3) 選手・スタッフは統一された服装で撮影すること。ポーズは禁止とする。
- (4) 写真はスマホで撮らず J P E G (写真の保存形式) で送ること。
※但し、上記のことは1・2部リーグを対象とする。

Ⅳ 競技・審判

1、競技規則 本大会は2020年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。

2、競技方法

- (1) 男子1部、男子2部、女子1部は12チーム総当りのリーグ戦とする。
- (2) 女子2部は8チーム総当たり戦の順位から上位リーグ4チーム、下位リーグ4チームに分かれそれぞれ総当たりにより、順位を決定する。
- (3) 男女共に3部～9部は12チームを前リーグ戦の試合成績でA・Bのグループに分けリーグ戦を行い、その成績を基にA・Bの同じ順位同士で順位決定戦を行う。
- (4) 男女1～3部は5セットマッチ、4部以下は3セットマッチとする。
- (5) 給水の為のタイムアウトについて
 - ①熱中症防止の観点から、室内温度が30度以上になることが予想される場合は、試合開始前に、給水タイムアウトを採用することを各チームに伝える。
 - ②チームスタッフは給水タイムアウト時には、選手と控え選手に接触(選手への声掛け等)をしてはならない。接触した場合は注意事項となる。

3、競技開始時刻

- (1) 各部により決定する。
- (2) 大会期間中プロトコールは第1試合に限り開始設定時刻より11分前に開始する。
- (3) 第2試合以降は、主審が記録用紙にサインした後、15分後にプロトコールを開始する。なお試合が連続となる場合は主審が記録用紙にサインした後、20分後にプロトコールを開始する。
- (4) ネットの張替えがある場合は、張替え終了5分後プロトコールを開始する。

- (5) チームが正当な理由なしに、定められた時間までに(選手が6人以上)競技場に現れない場合は、不戦敗となる。
- ① 試合開始時刻が設定されている場合は、試合開始時刻より15分後までとする。
 - ② 試合開始時刻が設定されていない場合は、プロトコール終了より15分後までとするため、試合の進行状況を確認すること。
 - ③ 試合の進行状況によっては、コートを変更して行う場合もあるので、他のコートの進行状況にも注意すること。

4、試合球使用

- (1) 本リーグ戦は、男子がミカサ製カラーボール (V300W)、女子がモルテン製カラーボール (V5M5000) を使用する。
- (2) 男女1部～2部は5ボールシステムとし、男女3部以下のリーグ戦は3ボールシステムで試合を行う。

5、組合せ

- (1) 試合組合せは前季試合結果に基づき作成する。試合の順番が偏らないように配慮して作成する。
- (2) 1チームの1日の試合数は2試合(3セットマッチの際は3試合)までとし、原則として連続試合にならないように配慮する。やむなく連続試合を行う場合の試合間は20分空けること。
- (3) 3部以下のチームが下部パンフレット記載後に試合順序を変更する場合、代表校は競技委員長の承認を受けなければならない。

6、審判員

- (1) 男女共に1・2部に主審・副審を、3部には主審のみを連盟より派遣する。
- (2) 4部以下の部に関しては原則として、審判員の派遣をしない為、各チームで資格取得学生審判員がリーグ戦の審判にあたる。
- (3) ラインジャッジ、点示、記録員、リベロチェック、ボールリトリバー、JVIMS判定員は各チームより選出する。

7、競技選手・スタッフメンバー提出

- (1) 試合当日の構成メンバー表の提出について
 - ① エントリーする18名(選手14名+ベンチスタッフ4名)を構成メンバー表に青ペンで記載し、本部へ提出すること。
 - ② 第1試合は、開始設定時刻の30分前までに、本部受付へ提出すること。
 - ③ 第2試合日以降は、前の試合の1セット終了までに本部受付へ提出すること。
2試合日以降のチームは、前の試合開始前に提出しないこと。
 - ④ 構成メンバー表提出後の変更は認めない。
 - ⑤ 部長以外(監督・コーチ・トレーナー・マネージャー)のスタッフを変更する場合
 - a.特段の理由がある時は、臨時役員変更届にて学連担当者申し出ること。
 - b.スタッフの登録を定められた期限までに完了していること。
 - ⑥ 部長はチームスタッフではないため、監督・コーチ・トレーナー・マネージャーとして、ベンチに入ることはできない。但し、部長とチームスタッフを兼任している場合はチームスタッフとしてベンチに入れる。
部長としてベンチに入る者はチームスタッフとしての行為をできないものとする。

- (2) 正規の競技者とリベロ競技者の人数割りについて13名以上、選手エントリーするときは2名のリベロ・プレーヤーを登録しなければならない。
- (3) 当日はエントリーする18名(選手14名+ベンチスタッフ4名)を構成メンバー表に青ペンで記載し、本部へ提出すること。
- (4) 学生以外のスタッフについては、男女同一大学の試合当日のベンチ入りスタッフを兼任することを認める。ただし、男女同一大学の試合時間が重複した場合は、男女どちらか1つのチームにエントリーを行うこと。または代理人(スタッフ、エントリー者に限る。)を立てる等の処置を取ることができる。

8、選手交代の手順

- (1) 各セット開始前に提出されたラインアップシートの変更は、副審が記録員に手渡した後は認められない。
- (2) 選手交代を要求するときは、交代選手がサブスティチューションゾーンに入る。複数の場合は、同時にサブスティチューションゾーンに出向く。その際、選手が準備できていない場合は拒否される。(その際遅延の罰則を適用されることが有る。)
 - ① 交代選手がサービスホイッスル後にサブスティチューションゾーンに入った場合は、不当な要求で拒否される。
 - ② 交代選手がサービスホイッスル後にサブスティチューションゾーンに入り副審がホイッスルした場合でも、遅延の罰則となる。
- (3) 副審が許可した後、選手交代をキャンセルした場合は、遅延の罰則が適用される。
- (4) 交代する選手は、サイドライン上で副審の合図によって交代する。
- (5) 記録員は記録用紙への記入が完了したら両手を挙げる。
- (6) 複数の選手交代の場合は副審の指示に従うこと。

9、選手・スタッフの途中参加

- (1) 選手・スタッフの試合中の途中参加はその都度できる。
(遅れる場合は事前に、審判・学連委員に申し出ること。)
 - ① 監督の場合は、ゲームキャプテンは監督が来たことを審判にラリー間に伝え、審判が確認した時点から、権利を行使することができる。
監督はセット間もしくは試合終了後に記録用紙にサインする。
 - ② 監督以外のスタッフ・選手も途中参加することができる。

10、公式練習及び試合時のベンチ

- (1) 公式練習は全日程、サーブ権を得たチームからそれぞれ、第1試合目のみ1チーム3分間ずつ、合同練習の場合は6分間とする。第2試合日以降は1チーム5分間ずつとする。合同練習の場合は10分間とする。
- (2) 公式練習からベンチに着席を認められた部長、監督、コーチ、トレーナー、マネージャーと競技者最大14名のみが参加することができる。クイック・モッパー2名については、ボールキーパーとしての参加のみを認める。ただし、ユニフォーム・スタッフウェア以外の統一された服装で参加すること。
- (3) 公式練習前に監督及びチームキャプテンは、第1セットのラインアップシートを

- 副審または記録員に提出すること。但し、副審が記録員に手渡した後、ラインアップシートの改正は認めない。
- (4) 公式練習前のウォーミングアップのネット及びボールの使用を認める。ただし、隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパーを配置すること。
 - (5) 公式練習中は、隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパー（クイック・モッパーを含め3名）を配置すること。
ただしボールキーパーは、他コートへのボールの侵入を防ぐ目的で配置するものであり、ボール拾い等を含め、公式練習に参加することは一切認められない。
 - (6) ボールカゴ及び部旗等は、公式練習後に競技エリア外へ出すこと。（当該コートのフリーゾーンの端に置くこと。）部旗を壁に立てかけず、床に倒して置くこと。
 - (7) ベンチには飲料水、救急用具等の最低限の必需品以外を持ち込まないこと。

11、ユニフォームについて

- (1) ユニフォームナンバーについて
 - ① ユニフォームナンバーの大きさは、胸部側は高さが15 cm以上、背部側は高さが20 cm以上であり、文字幅は2 cm以上のものでなければ着用を認めない。
 - ② ユニフォームのナンバーの色はユニフォームと対照的な色(はっきりと区別がつく色)と明るさでなければならない。
- (2) チームキャプテンは長さ8 cm、幅2 cmのユニフォームと異なった色のキャプテンマークを腹部の番号の下に明瞭に付けること。
- (3) ソックスについては長さの色を統一し、ベリーショートソックスのようなくるぶしが見える短いソックスは認めない。
- (4) アンダーウォーマー、スパッツ及びコルセットについてはユニフォームの下に隠れるように着用し、外部に露出しないように注意すること。（膝関節の医療用装具を除く。）
- (5) リベロの着用するユニフォームは、他の競技者とはっきりと区別がつく色（対照的な色）でなければならない。
(例：競技者の胸の部分が紺色で袖の部分が白色の場合、リベロの胸の部分が白色で袖が紺色のような反対デザインのものは禁止とする) リベロと他の競技者のユニフォームの色が紛らわしい場合は、リベロ・ビブスを着用させることもある。
- (6) リベロと他の競技者とのユニフォームの色が共に2色以上を用いる場合、それぞれが同色を用いないように注意すること。
- (7) 正規登録のリベロは、リベロ・ビブスの着用は認められない。
- (8) エントリー届提出後、大会期間中の選手のユニフォーム番号の変更は一切認めない。（エントリーと異なる番号のユニフォームを着用し試合に出場した場合没収試合とする）
 - ① 1選手の重複番号の使用は認めない。また、1つのユニフォーム番号につき1選手とする。
 - ② 使用するユニフォーム番号は1～99番とする。

12、リベロ・プレーヤーの取扱いについて

- (1) リベロは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなれない。
 - (2) リベロが負傷や病気、退場、失格等によりプレーの続行が出来なくなった時は監督または監督が不在の場合はゲームキャプテンが、いかなる理由であってもプレーできなくなったことを宣言することができる。
リベロがプレーできなくなったと宣言されたときには監督（監督不在の場合はゲームキャプテン）が、主審の許可を得てベンチ入りしているプレーヤーをリベロとして再指名することができる。（リベロと交代してベンチに戻っている競技者を除いて、ベンチにいる競技者であれば誰でも良い）。
 - (3) リベロと再指名されたプレーヤーは、その試合終了までリベロとしての登録となり、もとのプレーヤーには戻れない。
 - (4) 2人のリベロが記録用紙に記入されているチームは、そのうちの1人がプレーできなくなっても、リベロ1人で試合をすることができる。再指名は認められないが、もう一人のリベロも試合でプレーの続行ができなくなった場合は、他の選手を試合終了までリベロとして再指名することができる。
 - (5) 再指名されたリベロが、プレーが出来なくなった場合は、さらにリベロを再指名することができる。
 - (6) 監督がチームキャプテンをリベロとして再指名したときは、この要求を認めるが、チームキャプテンはリーダーとしてのすべての権利を放棄しなければならない。
 - (7) 監督が副審に、口頭で「リベロの再指名」を要求する（ハンド・シグナルは示さない）。そのとき、リベロと再指名される競技者は、リベロ・リプレースメント・ゾーンに、ナンバーパドルを使用する場合は、ナンバーパドルを持って準備をして立っていなければならない。（再指名された競技者はビブスを着用するか、リベロと同じユニフォームを着る）
しかしユニフォーム番号は登録者自身の登録番号と同じものを着用する。
- ① リベロが、コート上にいるときでも、再指名をすることができる。
セット間にリベロの再指名をしたいとき、監督はリベロを再指名することを副審に伝える。
 - ② リベロとして再指名された選手は、その試合を通してリベロとして試合に出場し、プレーすることができる。再指名されたプレーヤーは、その試合終了までもとのプレーヤーに戻ることはできない。正規にチームに登録されていたリベロはその試合終了までプレーヤーとしては戻れない。

13、ワイピング行為について

- (1) クイック・モップは当該チームから2名まで配置することができる。
服装はユニフォーム・スタッフウェア以外の統一されたもので、ベンチの両側に1名ずつ待機し迅速に行う。
- (2) クイック・モップがない時は、コート上の選手が行うのでワイピング用の布を保持すること。
- (3) 試合開始前、タイム・アウト及びセット間におけるワイピングはベンチの控え選

手または、クイック・モッパーが必ず行うこと。

- (4) クイック・モッパーが応援及びチームのマネージメント行為（ドリンク、アイシング作り等）をすることは一切禁止とする。それらの行為はチームに対しての警告となる。

14、競技全般の不法

行為の取扱い

- (1) 2020 年度（公財）日本バレーボール協会 6 人制競技規則による。
- (2) (一財)全日本大学バレーボール連盟及び(公財)日本バレーボール協会に登録されていない学生、(一財)全日本大学バレーボール連盟に登録されていない大人、エントリーされていない選手・スタッフが試合に出場したときは以下の様に取り扱う。
- ① 試合中に発覚した場合 → 6 人制競技規則 7.3.5.4 に従って処分する。
(ルールブックに記載)
- ② 試合終了後に発覚した場合 → 没収試合とする。
- (3) 競技違反については、処分基準詳細に従い、規律委員会で協議し決定する。
- (4) 男女 3 部以下のリーグ戦における没収試合が発生した場合、当該大学の責任となり、代表校は一切の責任を負わない。
- (5) 不法な行為については、同一人物が同一試合での繰り返し行為は累進的な制裁受ける。
- ①「非スポーツマン的行為」及び「不法な行為」については、そのプレーヤー・スタッフに対し、試合全体を通して罰則が与えられる。
- 原則として次の手順を踏む、行為の内容によっては、レッドカードもあり得る。

(例)

- ・警告：ステージ 1 口頭での警告
- ・警告：ステージ 2 イエローカードでの警告
- ・ペナルティ：レッドカードを示し、相手に 1 点与える
- ・退場：イエロー、レッドカードを同時に示す（そのセット終了までペナルティ・エリアに座る）
- ・失格：イエロー、レッドカードを別々に示す（競技コントロールエリアから退去する）

- ②「攻撃的行為」については、1 回目で失格とする。

15、試合前の待機中のチーム

- (1) 試合終了後の挨拶が終了し、全試合のチームが撤退し始めるまでアリーナの外で待機すること。（ボールをボールカゴから出して手に持って待機することも禁止する。）

16、部長・チームスタッフについて

- (1) チームスタッフは、当該大学生以外の場合は、(一財)全日本大学バレーボール連盟に登録されていれば、部長・マネージャー以外の全ての役職を行うことができる。
- (2) 部長は当該大学の教職員でなければならない。
- (3) 当該大学の学生は、(公財)日本バレーボール協会 (一財)全日本大学バレーボール

連盟に登録されていれば、部長以外の役職を行うことができる。

- (4) 部長・監督は原則として季節に応じた正装（ジャケット必須）とする。ただし、ネクタイ不要。コーチ・トレーナー・マネージャーは原則として季節に応じた、統一された服装とする。短パン、ハーフパンツ等は原則として許可されないが、気温が高く熱中症等が懸念される場合は、競技委員長の判断により緩和することができる。
※部長・監督がトレーニングウェアを着用する場合は、スタッフ全員が統一されたものを着用すること。ランニングシャツ等は不可とする。
- (5) 試合中の中断の要求ができるのは監督とゲームキャプテンだけである。
- (6) 監督が試合中に妨害あるいは遅延を行わない限り、自チームベンチ前のアタックラインの延長線から競技コントロールエリアのコーナーにあるウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。
- (7) 審判員の判定に対するアピールや抗議、監督自身がライン判定をする行為を禁止する。この行為は制裁の対象となる。
- (8) 試合中、相手チームに対して、選手を牽制するような言動は認められない。（相手チーム選手の番号や名前を特定する行為）このような行為は制裁の対象となる。
- (9) 部長、監督、コーチ、トレーナー、マネージャーは役員章(部・監・C・T・M)を付けなければベンチに入ることができない。
※ただし、左胸につけること。

17、学生補助役員

- (1) 学生補助役員は16名（記録員1名、リベロチェック1名、ラインジャッジ4名、JVIMS判定員2名、点示2名、ボール・リトリバー6名）で行う。
- (2) 第1試合の補助員については第3試合の両チームが以下のように分担すること。
第3試合が無い場合は、第1試合は第2試合の両チームが行う。
（記録員1名、リベロチェック1名、JVIMS判定員2名、
ラインジャッジ4名、）
（点示2名、ボール・リトリバー6名）
- (3) 第1試合の学生補助役員はプロトコール10分前までに記録席に集合すること。
- (4) 第2試合以降の学生補助役員は前試合終了直後の担当となるため速やかに記録席に集合すること。
- (5) ラインジャッジは審判員の一員として正確なジャッジをすること。
- (6) 点示員は試合を観戦することなく正確な得点表示をすること。
- (7) ボール・リトリバーは、ラリー中は中腰姿勢を維持すること。座り込んだり・注意散漫になったりしないこと。ボールをサーバーに渡す時以外は投げずに、迅速に床に転がし試合の運営に当ること。サーバーにボールを渡すリトリバーはインプレー中ボールを保持すること。
- (8) 人数が不足する場合は、対戦する相手チームに協力を依頼すること。
- (9) チームで統一された服装（ユニフォーム可）で行い、任務を遂行すること。

18、規律委員会について

- (1) 規律委員会は競技違反、規則・規定違反があった場合はただちに委員会を開催し処分基準に従って処分を決定する。

19、棄権・没収の取扱い

- (1) 1試合以上の棄権は各部最下位、さらに全試合の過半数を棄権した場合は最下部最下位とする。(ただし3部から9部の順位決定戦は試合数に含まれず、棄権をしてもこの処置は取らないものとする。)
- (2) 全試合棄権する場合は、エントリー締め切りまでに、学連委員長あてに文書で届けること。但し最下部とする。
- (3) リーグ戦開幕以降の棄権、または没収試合に関しては棄権をしたチーム、没収試合の対象となるチームの得点を0点とし、セットカウント0-2または0-3とし負けとなる。

20、リーグ戦の順位決定方法

- (1) 勝敗が同じの場合

$$\text{セット率} = \frac{\text{総得セット}}{\text{総失セット}} \quad \text{この算出方法で高い方が上位とする。}$$

- (2) セット率も同じ場合

$$\text{得点率} = \frac{\text{総得点}}{\text{総失点}} \quad \text{この算出方法で高い方が上位とする。}$$

- (3) 得点率も同じの場合

- ① 2チームの場合は当該校同士の試合の勝ちチームが上位。

当該校同士が棄権、没収の場合は前季リーグ戦の成績順位により決定します。

- ② 3チームの場合は前季リーグ戦の順位により決定し再試合は行わない。

21、試合結果報告

3部以下は毎週リーグ戦終了後の月曜日又は火曜日に、その週の試合のIF用紙(構成メンバー表が貼られているもの)と下部パンフレットを学連事務局に持参すること。(指定日に持参できない場合は必ず電話で連絡すること)

※IF用紙の郵送は紛失を防ぐため不可とする。

22、入替戦

- (1) 男子1部-2部は、1部11位と2部2位・1部12位と2部1位が入替戦を行う。
- (2) 男子2部-3部は、2部11位と3部2位・2部12位と3部1位が入替戦を行う
- (3) 女子1部-2部は、1部11位と2部2位・1部12位と2部1位が入替戦を行う。
- (4) 女子2部-3部は、2部7位と3部2位・2部8位と3部1位が入替戦を行う
- (5) 男女共3部11位、12位また4部以下は入替戦を行わず原則上下2校ずつの自動入替制とする。
- (6) 期日・会場
1・2部間…5月23日(土) 会場:駒澤大学玉川キャンパス
2・3部間…5月23日(土) 会場:未定

- (7) 競技方法・競技規則
 - a) 5 ボールシステム、5 セットマッチとする。
 - b) 2020年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則とする。
 - c) 出場資格:リーグ戦に最終日まで登録された選手に限る。

V、会場使用上の注意

- (1) 横断幕等を貼る際には各会場の注意事項に従うこと。不明な点は学連担当者(代表校)に尋ね適切に行うこと。
- (2) 会場に出たごみは各チーム(各自)責任をもって持ち帰ること。会場にごみを放置したまま帰る等の行為は禁止する。会場や駅など会場周辺のごみ箱は使用しないこと。
- (3) フロアでの撮影は、報道企業、大学広報等のみとする。写真・ビデオの撮影は受付にて撮影許可証を取ること。フラッシュ撮影はプレーの妨げとなるため禁止とする。
- (4) 各会場の電源使用は、会場ごとに異なるため、注意事項を確認すること。
無断で電源使用をしているチームが発覚した場合、メディアごと本部にて回収する。
- (5) 喫煙については各施設の利用規則を厳守すると。
- (6) 貴重品等の盗難に関して、当連盟では一切の責任を負わない。各チーム荷物の管理は徹底すること。
また、忘れ物・紛失物に関しては各会場受付にて管理する(リーグ戦開催中のみ)。貴重品以外の忘れ物・遺失物は大会終了時に処分する。
- (7) チームの荷物の置き場は、各会場にて学連員に確認すること。
翌日の試合のために荷物を置いて帰る場合は、学連委員の指示に従い、他のチームのことも考慮して最小限のスペースに収まるよう、協力すること。
チームの勝手な判断による荷物の放置は、他の目的での施設利用者の迷惑となるため、一切禁止とする。また、チームの荷物の紛失に関しても、当連盟では一切の責任を負わない。

VI、その他

- (1) 本リーグ戦前にエントリー選手は健康診断を受けること。選手の健康管理については、チーム及び個人の責任としてこれを受け止め、充分留意すること。
- (2) 本リーグ戦の期間中に選手が負傷した場合は、第一義的にはトレーナーが行うこと。応急手当補助は行うが、あくまでも医師等に見せるまでの応急手当である。以後の責任は負いません。
- (3) 2020年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則、(一財)関東大学バレーボール連盟開催要項事項違反、応援者の悪質な行為、各施設の利用規則違反及び学生としてのマナー欠如等に対して、競技違反等に関する規律委員会において、処罰の対象となるので十分注意すること。
- (4) 本リーグ戦に関する問い合わせ先
一般財団法人関東大学バレーボール連盟
〒101-0035
東京都千代田区神田紺屋町46 風月堂ビル405号室
TEL: 03-5244-4804 (受付時間は21:00までとする)
HP: <http://kanto.volleyball-u.jp/>
E-mail: kyogi_toroku@juvf.jp (上記時間外はこちらにメールを下さい。)